

令和3年度第2回 沿岸広域振興圏地域連携懇談会における御意見に対する対応状況

開催日：令和3年12月6日（月） 14時～15時40分

場 所：釜石地区合同庁舎 4階 大会議室

No.	御意見（趣旨）	対応状況・対応方針	
		対応部	内容
1	<p>【赤坂広太委員】</p> <p>「スポーツを活用した沿岸地域の活性化」の中にみちのく潮風トレイルを入れられないか。みちのく潮風トレイルもスポーツとして成り立っているし、交流人口の拡大の観点からも、良いのではないかと考えている。</p>	企画推進課	<p>三陸地域では多様なスポーツ活動が行われていると認識しており、「みちのく潮風トレイル」を活用したトレイルもその一つと考えています。</p> <p>振興局では、これらのスポーツ活動を含めた三陸地域の多様なスポーツ資源と他の地域資源との連携による「スポーツを活用した三陸活性化事業」を行っています。今後とも、スポーツ資源を活用して交流人口の拡大につなげる取組を進めていきます。</p>
2	<p>【内金崎加代子委員】</p> <p>飲食店を営業しているが、サーモンが出回っていないと感じる。メニュー開発やギフト用にするなど工夫できるので、出回ってくればよいと感じる。</p>	水産部	<p>県産サーモンの海面養殖は、開始してから間もないことから生産量はまだまだ少ないことに加え、県外からの引き合いが強い等の事情もありますが、生産量を徐々に増やしていく計画もあることから、地元への供給が増えるよう関係者との調整等に取り組んでいきます。</p>
3	<p>【内金崎加代子委員】</p> <p>スポーツについては沿岸部の施設が充実してきており、ラグビー場も鶴住居にあるので、スポーツの大会を誘致すると、各地から人が集まり、宿泊の利用が増えるのではないかと考えている。</p>	企画推進課	<p>県では、市町村や関係団体等で組織した「いわてスポーツコミッション」を中心に、様々なスポーツ大会や合宿等の誘致の取組を推進しているところです。具体的には、市町村等と連携して、大学や実業団のスポーツチームを対象とした合宿相談会、地元宿泊事業者と連携した情報発信の促進、WEBサイトでの県内のスポーツ施設等の情報発信等を実施しています。</p> <p>引き続き、市町村や関係団体等と連携を図りながら、各市町村のスポーツ施設等の資源や観光資源を生かし、交流人口の拡大に向けた取組を進めていきます。</p>

4	<p>【内金崎加代子委員】</p> <p>みちのく潮風トレイルはあまり浸透していないように感じる。トレッキングはこれまでにない文化なので、浸透させるには工夫が必要。様々な情報発信をして、根付くようにするべきだと思う。</p>	産業振興室	<p>みちのく潮風トレイルの PR については、環境省がルート情報の提供、マップ作製、モデルコースの紹介を行うとともに、みちのく潮風トレイルを運営する NPO 法人みちのくトレイルクラブ（宮城県名取市）が三陸の各地域で開催されるイベント情報の発信を行っています。</p> <p>沿岸局管内の団体においても独自にトレイルを活用したウォーキングイベントを開催していますが、地域間の繋がりを強化していくことが必要であることから、今年度、より多くのハイカーに「みちのく潮風トレイル」の魅力を広く深く知ってもらい、リピーターの増加とロコミによるファンの拡大につなげることを目的に、8月～11月に「さんりく周遊トレイルスタンプラリー」を実施することとしています。</p>
5	<p>【河野通洋委員】</p> <p>水産原料が調達できない中で、三陸の強みを生かした水産加工品や、ここでしか食べられない仕組みを作るなど、高付加価値化を狙う必要があると考えている。</p>	水産部	<p>サケ、サンマ、スルメイカ等主要魚種の水揚量が減少し、水産加工原料が不足している状況にあることから、水産加工事業者を対象として現在水揚げが安定している魚種（マイワシ、ブリ、サワラ等）を用いた加工品開発を県事業により推進しています。今後も産地独自の加工品開発を進め、高付加価値化に取り組んでいきます。</p>
6	<p>【河野通洋委員】</p> <p>観光客が、内陸の宿泊のみならず、沿岸においても一泊するような施策を考えてほしい。</p>	産業振興室	<p>観光消費額を上げるためには、観光客に広く周遊、長く滞在いただくことが重要です。</p> <p>沿岸局では、7月からの「北東北三県大型観光キャンペーン」の実施に合わせ、県内や隣県のタウン誌等に三陸観光の特集記事を掲載するとともに、道の駅や主要観光施設を対象にマスメディアと連携したキャンペーンを展開するなど、広く沿岸地域を発信し、観光誘客の促進を図っています。また、管内の宿泊事業者を対象に専門家を活用した情報交換会を継続的に実施しており、引き続き、沿岸地域への誘客と滞在を促進する施策を行っています。</p>

7	<p>【河野通洋委員】</p> <p>ひきこもりに関して、社会の最低限の器を作る必要が地域全体であると思うので、農業や漁業なども含め、施策を考えてほしい。</p>	保健福祉環境部	<p>ひきこもりの実態について平成 30 年度に実施した県内実態調査から、精神科医や県ひきこもり支援センターによる相談支援事業、当事者や家族を対象とした居場所支援などを実施しています。就労支援としては地域若者サポートステーションや就労支援事業者に事業を委託して行っています。障がい者の自立支援事業者には農福連携や水福連携に取り組んでいる事業者もあり、このような取組の広がりを支援しています。</p>
8	<p>【佐々木淳子委員】</p> <p>アカモクのふりかけの製作など、あともう少しで商品化の段階まで来ている。岩手県は脳血管障害が全国ワーストで、その中でも釜石市は死亡率が高い。健康により栄養素が多いアカモクをぜひ普及させて、釜石のみならず県内にも広めたいと思っているので、これからも県の支援をお願いしたい。</p>	水産部	<p>「アカモクのふりかけ」は「幸せ作る女性農林漁業者育成事業」（県単独事業）により商品化を推進してきたところです。管内においては民間主導で設立された「アカモク消費拡大推進協議会」が積極的にアカモクの普及活動に取り組んでいますので、地域全体が連携して取り組むよう働きかけるとともに、販売促進イベント等への参加支援に取り組んでいきます。</p>
9	<p>【佐々木康行委員】</p> <p>郷土芸能では、VRを活用するなど、一緒になって体感していくことが次の世代の担い手の育成に繋がるきっかけになると考えており、そのような施策を考えてほしい。</p>	企画推進課	<p>県では、民俗芸能に携わる若い世代の誇りや意欲を高め、活動の更なる活発化につなげるため、毎年度開催している「岩手県民俗芸能フェスティバル」に県外の民俗芸能団体を招待し、本県の民俗芸能団体と交流の機会を創出する取組を今年度行う予定としています。また、「三陸国際芸術祭」の取組についても、引き続き支援しているところです。</p> <p>今後とも、これらの取組などを通じて、地域の多様な文化や民俗芸能の保存・伝承・活動の支援に取り組めます。</p>
10	<p>【佐藤智子委員】</p> <p>精神障がい者の職場の受け入れ態勢を柔軟にしていただければと思っている。</p>	保健福祉環境部	<p>精神障がい者の一般就労について、就業支援事業者が就労した当事者及び雇用者と定期的に相談を実施して課題解決に取り組んでいます。</p> <p>様々な就労体験を提供している事業者と行政機関などが障がい者自立支援協議会就労支援部会を構成しており、定期的な会議において障がい者就労の情報交換を行っています。</p>

11	<p>【椎谷百代委員】</p> <p>三陸が一体にならないと観光は難しいと考えているので、観光業者や三陸鉄道と一緒にエージェントを訪問して契約を取ってくることに力をいれれば、全体として潤うと思うのでよろしくお願ひしたい。</p>	産業振興室	<p>観光関係者が一体となって行うツアー誘致活動は大事な取組です。県観光協会が県外のエージェント向けに、県外の現地に出向いて観光誘致説明会を実施しており、沿岸地域からも多くの事業者が参加しています。また、沿岸局においても、バス会社や三陸鉄道等の事業者と連携しながら、首都圏等でのエージェント訪問を実施しております。今後も、管内の観光団体や事業者等と連携した取組を行っていきます。</p>
12	<p>【橋本美紀委員】</p> <p>郷土芸能の伝承に関して、伝承する側が高齢になっているが、異なる年齢の人たちと接すると子供たちも生き生きとしており、一緒に練習するためにも、発表する場が必要であると思う。</p>	企画推進課	<p>振興局では、三陸地域の郷土芸能や文化芸術の創造的な復興を目指す三陸国際芸術推進委員会に参画し、三陸地域の芸能の魅力を広く発信する「三陸国際芸術祭」の取組を支援してきました。</p> <p>また、大型観光キャンペーンと連携して郷土芸能を活用した情報発信にも取り組んでいます。</p> <p>今後も、同委員会の取組への支援や情報発信などを通じて、地域の多様な文化や民俗芸能の保存・伝承・活動の支援に取り組みます。</p>
13	<p>【山元一輝委員】</p> <p>沿岸地域では、高校受験の際に土木建築系という選択肢がなくなっており、中高生を対象とした企業見学会を積極的に行ってほしい。</p>	土木部	<p>令和4年2月に釜石管内の中学校7校、高校3校に令和4年度建設業の見学会の希望調査のアンケートをとり、希望があった中学校1校に対して9月に現場見学会を行い建設業の概要について説明を行う予定です。</p> <p>引き続き一般社団法人岩手県建設業協会や経営企画部とも調整をとり、中高生を対象としたPRに努めていきます。</p>